

# 漁川ダムの防災操作効果について

平成23年9月1日より降り始めた雨により、漁川の上流にある漁川ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

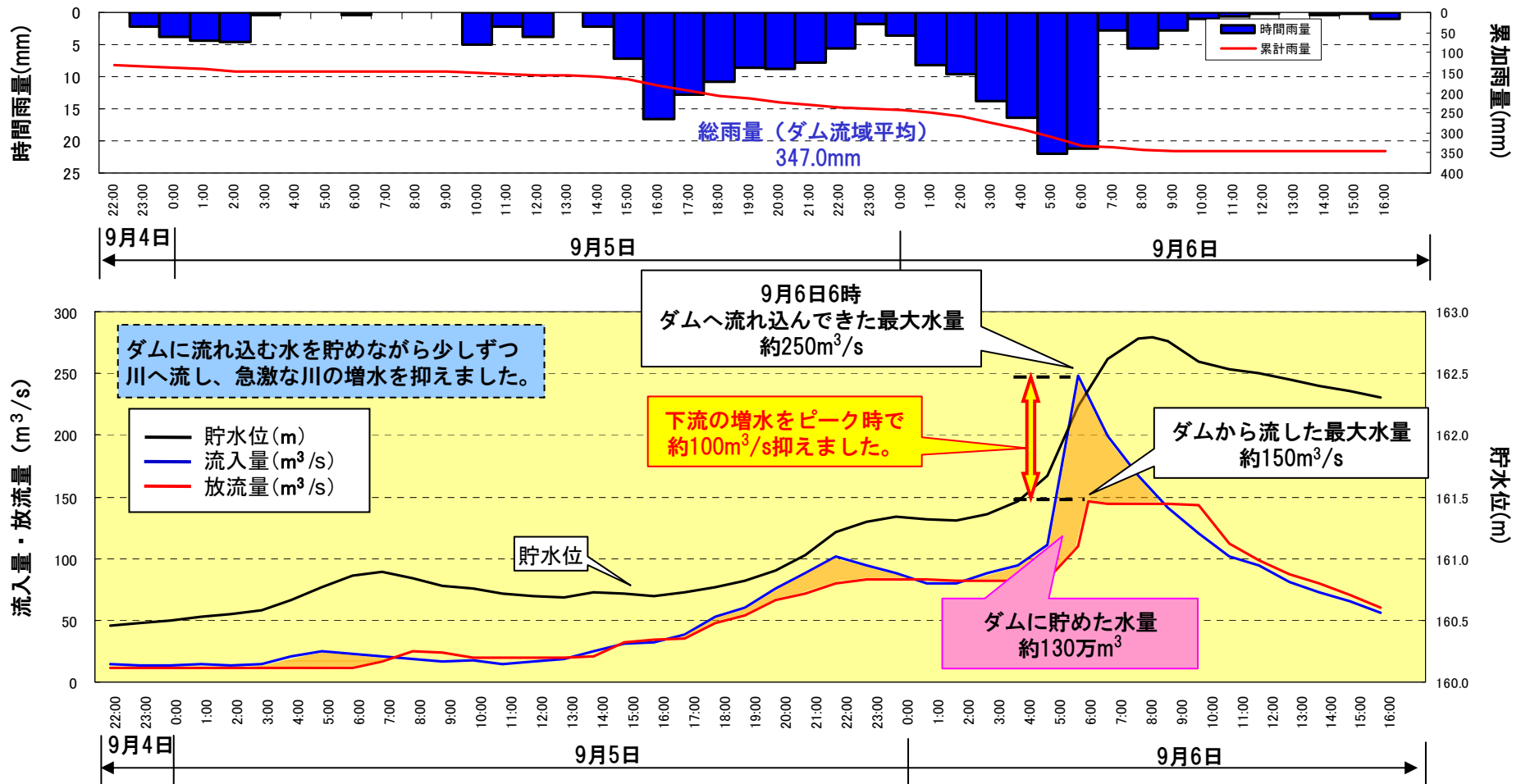
ダムに流れ込んでくる水を一部貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、漁川の日の出橋付近（日の出橋水位観測所）の水位を**概ね1m程度低減**させたと想定されます。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

# 漁川ダムの防災操作状況

今回の出水において、漁川ダムでは、最大で毎秒約250m<sup>3</sup>の流入がありました。それに対し下流への放流を最大でも毎秒150m<sup>3</sup>程度に抑え**130万m<sup>3</sup>（札幌ドーム約1個分）**の洪水をダムに貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。

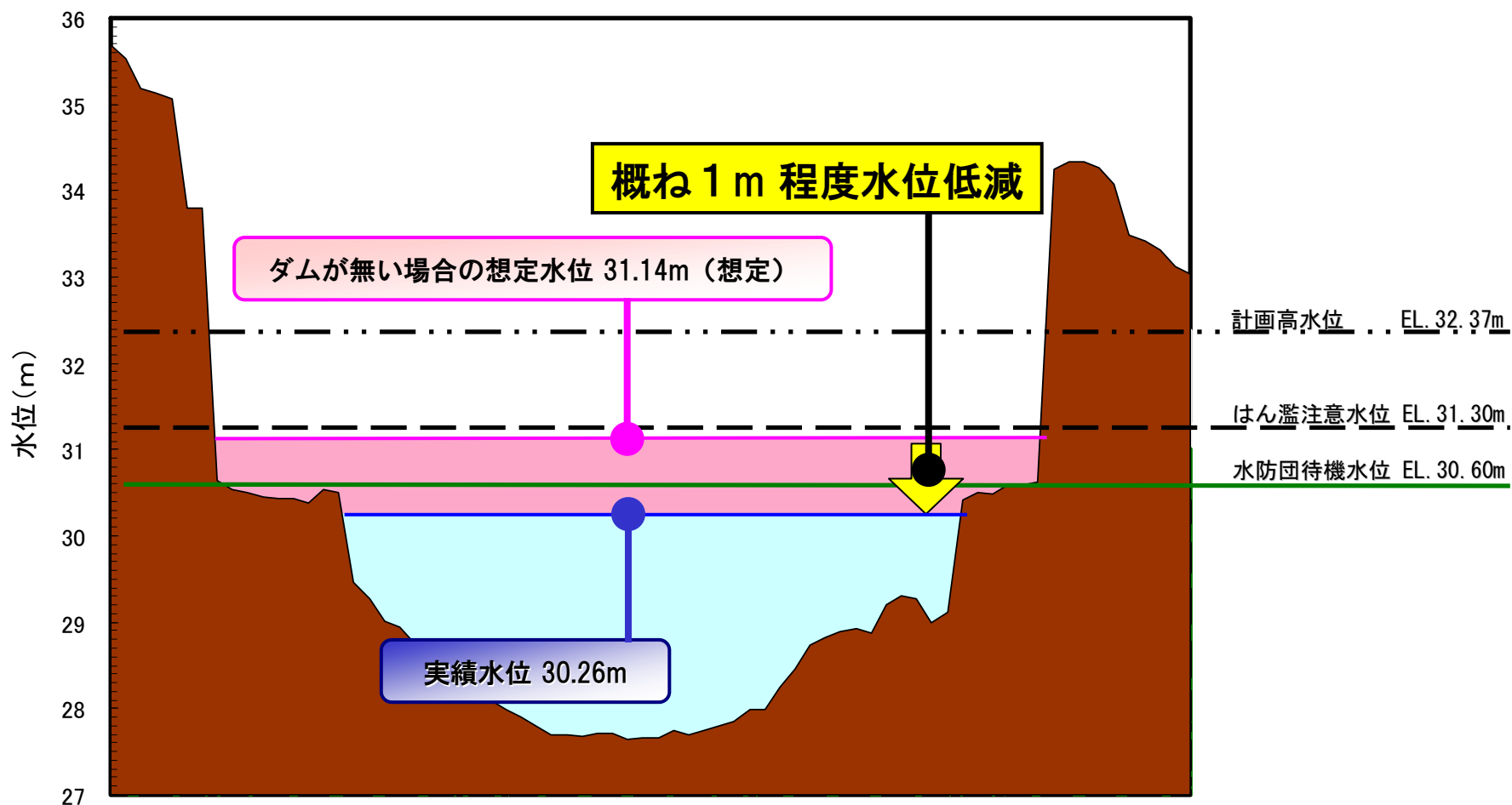


※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

# 漁川ダムによる水位低下効果（日の出橋水位観測所）

漁川ダムの防災操作により、漁川の日の出橋付近（日の出橋水位観測所）の水位を**概ね 1 m程度低減**させたと想定されます。これにより「水防団待機水位」を超える水位上昇を抑えることができました。

◆日の出橋水位観測所地点（ダム下流約14 km）



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。